

卒業生訪問

♥ 山田満知子コーチへのインタビュー ♥

今回は金城学院大学家政学部出身で現在フィギアスケートのコーチとして世界的に有名な山田満知子コーチにお話をうかがいました。

○生い立ちから大学生時代まで

山田コーチは四人兄弟の四番目として名古屋市にお生まれになりました。当時としては先進的なお父様は女の子でも何か身になる習い事を受けるべきだと考えられ、まずクラシックバレエを習われました。7歳の時今池にスケートリンクができたのを機会にスケートを始められ、アマチュアのコーチにアドバイスを受けながらどんどん上達し、インターハイ、さらには国体でも優勝されるという素晴らしい成績をあげられました。その後、競技者としてよりも人を指導することに興味をもった山田コーチは競技生活からは引退し、フィギアスケートのコーチをめざされることになりました。当時東京や大阪にはプロのフィギアスケートコーチがいましたが、名古屋にはおらず、大学に通いながらアルバイトコーチとして、自分で練習を指導されるようになり、大学当時は積極的に競技活動をされていませんでしたが、それでも1,2年は国体一般の部に出場されたそうです。



学校とアルバイトコーチさらには自分の練習という忙しい大学時代でしたが、たくさんの仲間とにぎやかに過ごすのが好きな山田コーチは友人たちの楽しい思い出ばかりが残ってと嬉しそうに話されました。

○結婚後の生活のこと

結婚後はスケートのコーチは辞めるつもりでしたが、名古屋には経験豊かなプロの指導者がいなかったため、続けてほしいという周囲の要望が強くなり続けるとなり、妊娠、出産を機にいったん引退しましたが、子供さんに手がかからなくなると再び周囲の要望により復帰されました。何十人もの生徒たちを指導するうちに、何人かの才能ある生徒があらわれました。のちにオリンピック銀メダリストとなる伊藤みどりさんとの出会いが力量を世界に知らしめることとなり、それ以来コーチ業より離れることができなくなりました。ご主人も仕事にご理解があり、むしろ積極的に仕事をすることを勧められたそうです。子育てはご実家が協力してくださり、子供さんを預かったり、夕食のおかずを作ってくれたりに始まり、ついには四人兄弟の末ながら実家のご両親と二世帯同居となりました。自分も努力したけれど、こうした周りの人たちの協力をよく自然に得ることができ幸せだと感謝されてました。

○60歳になって

今までやってきたことに悔いはなく幸せだと話されました。コーチとしても一人の人間としての生き方にしても時代が変わったので昔のやり方を人に強制するつもりはなく、今の時代に合った方法を考えて行きたいと思っておられ、家族特にお孫さんと過ごす時間が一番とおっしゃり、引退後はご主人と旅行をするのが夢だそうですが、スケートを教えることで逆に生徒からパワーをもらっており、選手が頼ってくれるうちはまだまだコーチを続けるつもりだそうです。



クラスメイトと楽しいひととき

○取材を終えて

今回お忙しい練習時間の合間にお時間をいただき感謝しております。山田コーチの魅力的で気さくなお人柄に時間がたつのも忘れ、お話をうかがうことができましたが、山田コーチの生き方そのものが豊かな表現力の源だと感じました。これからのますますのご活躍をお祈りさせていただきます。

クラス会便り

三回生は、二年毎にクラス会を開催しています。回を重ねる事18回目のクラス会となりました。今回は22名の出席者を得て旧交を温めあいました。年齢的にも自由な時間を持てる人が多くなり、しばし歓談の花を咲かせる事が出来、楽しいひと時を過ごしました。

開催場所……マリオットアソシアホテル
18階 中華料理「梨杏」

日 時……2003年11月9日(日)

